

JGKA 管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況		事故発 生場所	経済産業省 の調査結果	製品事故判定第三者委員会	事業社名	機種・型式	備考
					物的被害	人的被害						
A2K1000026	2010/12/22	2011/04/12	石油ファンヒーター	購入後、しばらくは通常に使用出来ていたが、21日の夜タイマーをかけて就寝、朝起きて見たら、本体側面から真っ黒な煙が出ていて絨毯と下の畳が焦げていた。	絨毯と畳が焦げた	無し	岩手県					
A2K1000025	2010/11/25	2011/04/12	石油ファンヒーター	朝7:00頃、点火しようとしたが、点火しにくく、何回か運転ボタンを押し、臭いがしていたとの事。7:30頃吹き出し口から発煙及び煤が発生し、異常に気づいた。製品に煤が付着し、製品下の畳が焦げていた。	畳が焦げた	無し	兵庫県					
B2K1000024	2010/10/31	2011/04/12	石油給湯機付ふろがま	ボイラーの排気口が真っ黒になっているとの修理のご連絡を頂いた。	なし	なし	埼玉県					
A2K1000023	2010/12/02	2011/02/08	石油小形給湯器	家人がお湯を使用中に異臭と煙が見えたため、給湯器を見ると黒煙と火の粉が出ていた。	製品内部の一部焼損。	被害は有りません	福島県					リコール製品
A2K1000022	2010/12/31	2011/02/08	石油ファンヒーター	2月31日に床から煙が出ていることに気が付いた。ファンヒーター底面の過熱によりカーベットが焦げた。4.5帖の和室にカーベットを2重に引き、1枚目は溶けて円状に焦げ、2枚目は表面が焦げている。	カーベット	無し	北海道					
B1K1000021	2010/12/15	2011/01/11	石油ふろがま	循環口上部から下部にひび割れがあるタイル浴槽にガムテープを貼って使用していた。常時水を張っているため、浴槽の水位を確認せずにタイムスイッチを回した。普段も同様で、注ぎ足しは入浴中に行っていた。浴槽に水がない状態でふろがまを運転し空焚きとなったもの。	木造2階建て全焼(床約150㎡、延約225㎡)。	なし	北海道	---				25年以上使用
B1K1000020	2010/11/06	2011/01/11	石油ふろがま用缶体	入浴中、お湯を沸かしていた時、煙が窓から浴室内に入って来たのに気づき、バーナーを止めた。10年前に石油専用の缶体とマキ焚き兼用ふろがま用バーナーを、知人より譲渡してもらい、自分で設置して使用していた。4ヶ月前に缶体底部から煙が漏れ出したことに気づき、漆喰で塗り押さえた。排気漏れとふろがま缶体と壁との距離が近過ぎた(約2cm)ことが原因と判断する。	ふろ釜に隣接した外壁の内部木材が約0.1m2程度炭化した。	なし	徳島県	---				10年以上使用(製造日からは20年以上)
B1K1000019	2010/10/18	2011/01/11	石油ふろがま	急いでいて、浴槽の水を入れながら、ふろ釜のスイッチを入れたため空焚きとなった。上の循環口以上に入っている事を確認していなかった。	機器焼損、接続用循環パイプ焼損、浴槽循環口部焦げ、外壁(石膏ボード付カラー鋼板)0.2㎡煤付着。	なし	長野県	---				25年以上使用
B1K1000018	2010/08/05	2011/01/11	石油ふろがま(薪兼用)	前の晩、奥さんが薪をくべて風呂を沸かした。翌日早朝に使用者が起きてみると、屋根の部分が燃えていた。使用者が元左官で、2~3年前にふろがま(H2缶)を人から譲り受けて自分で設置した。煙突の屋根貫通部で付近の木材が過熱されて発火したと判断する。	機器に被害無し。ふろ釜設置場所の屋根一部焼損。	なし	山口県	---				なし
B1K1000017	2010/08/03	2011/01/11	石油ふろがま	浴槽へ水を張って、確認した時は浴槽から水が溢れていたのを、水位を下げる為排水栓を抜いたが、それを忘れて、タイムスイッチを約15分にセットした。10分後位にふろがまが赤く見え、ふろ釜上部のほうからは火が見えた。	全焼(71㎡)。近隣3軒に延焼(1軒3㎡部分焼、壁1.8㎡焼損。2軒はボヤ。)	なし	東京都	---				30年以上使用

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況		事故発 生場所	経済産業省 の調査結果	製品事故判定第三者委員会	事業社名	機種・型式	備考
					物的被害	人的被害						
B1K1000016	2010/08/01	2011/01/11	石油ふろがま	数年使用していなかった実家にある給湯機を使おうとして、間違っで風呂釜のタイムスイッチを回した。プレーカーが落ちたことで異常に気づいた。浴槽の水を確認せずに、タイムスイッチを回したため、空焚きとなった。	機器焼損、ふろ釜設置場所のビニールタンの屋根が一部溶解。	なし	福岡県	---				20年以上使用
B1K1000015	2010/07/30	2011/01/11	石油ふろがま	浴槽の水位を確認せずにふろ釜のタイムスイッチを10分に設定した。消防署が消火後、浴槽内に水がないのを確認した。	機器焼損、接続循環パイプ溶解、浴槽内部若干焦げ。	なし	長野県	---				25年以上使用
B1K1000014	2010/06/25	2011/01/11	石油ふろがま	ふろを沸かしている途中で煙と臭いに気付き、スイッチを切ったが、空焚きとなっていた。浴槽の排水栓をホームセンターで購入したとのことで、浴槽の排水栓のはまりが不十分で浴槽水が漏れて空焚きになった。	循環パイプ焼損(溶解)、浴槽(ステンレス)の循環口付近変色。	なし	熊本県	---				25年以上使用
B2K1000013	2010/03/10	2011/01/11	石油ファンヒーター	1歳半の女児のオムツ換え中に太ももが暖房機の吹き出し部に接触し火傷を負う。当該製品は仕様を満足するものであり特に問題はなく、事故原因が製品に起因するとまでは言えないと判断する。	なし	軟膏治療3週間の火傷	宮城県	---				なし
B1K1000012	2010/03/02	2011/01/11	密閉式石油ストーブ	朝、スイッチを入れたら排気筒より白煙が1～1.5m位立上がったのでスイッチを切った。温風吹き出し口の中がオレンジ色に見えたので、消火器を使い消火した。給気ホースの劣化穴あきにより、風量過剰で機器が着火遅れとなった状態で、長期間使用され、バックファイアーや異常燃焼で漏れ出た油に、今回の油切れ、給油後の再着火で、防爆板取付部から出た炎が引火したと判断する。給気ホースの劣化穴あきは、送風ファンへの多量の埃付着で、送風量が異常に少なくなり、高温となったことが原因と判断する。	機器一部破損	なし	兵庫県	---				現品はマントルピース内設置と同じ設置状況であったので、設置後、送風ファンの掃除が全く行われていなかった。(マントルピース内は設置しないよう取説に明記)
B2K1000011	2010/02/17	2011/01/11	石油給湯機付ふろがま	使用者より弊社特約店に「油漏れがある」との連絡がありサービス店を手配。電磁ポンプと油電磁弁を交換。電磁ポンプと油電磁弁の内部のOリングが経年変化によりシール性が低下したため油漏れとなった。	機器内の油漏れ、床に少量の油濡れ。	なし	北海道	---				既販品については、2005年2月より無償の点検改修を実施している。
B1K1000010	2010/02/17	2011/01/11	油焚き温水ボイラ	当該機器を運転中、火災報知器が作動した。缶体とバーナー間の隙間から漏れた排気により、周囲の電線類が過熱され、劣化炭化して発火に至った。隙間は、バーナーの固定用蝶ナットが十分に締められていなかったことが原因と判断される。	機器内部の焼損、主に制御基板、電線類。	なし	新潟県	---				なし
A2K1000009	2010/11/23	2011/01/11	石油給湯機付ふろがま	使用中、機器より煙がでて機器内部が焼損した。	機器内部一部焼損	被害は有りません	神奈川県	---				リコール商品
B2K1000008	2010/11/02	2011/01/11	石油ファンヒーター	(使用者のコメント)点火時、温風吹出口より炎が出て火傷	なし	火傷(軽傷)	北海道	---				
A2G1000007	2010/09/23	2010/11/26	石油小形給湯機	シャワー使用中、急に水になりプレーカーが作動。給湯器から黒煙が上がり器具焼損した。	器具焼損	有りません。	青森県	---				
B1K1000006	2010/04/15	2010/06/03	石油ファンヒーター	4/15午前1時頃火災発生	木造2階建・犬舎・小屋3棟全焼	人的被害なし	福岡県					
B2K1000005	2010/01/18	2010/03/15	石油給湯機付ふろがま	燃焼時に油が漏れた	無	無	長野県					
B2K1000004	2010/03/02	2010/03/15	石油ファンヒーター	石油ファンヒーターを着火しようとスイッチを押したところ、火が上がって異常着火した。	不明	無	東京都					

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況		事故発 生場所	経済産業省 製品事故判定第三者委員会 の調査結果	事業社名	機種・型式	備考
					物的被害	人的被害					
B2K1000003	2010/02/22	2010/03/08	密閉式石油ストーブ	ストーブを消火後、教室の児童13名が気分が悪くなり、病院に搬送された。原因は、消火後の排気臭が開けた窓から室内に入った。	無	軽傷13名(気分が悪くなった。)	埼玉県				
B1K1000002	2010/01/28	2010/02/16	石油ストーブ	使用者が異常燃焼と誤認して座布団をストーブに掛けたため、火災が発生した。	家屋全焼	死亡1名	千葉県				
B1K1000001	2010/01/07	2010/01/28	石油ファンヒーター	お客様が当該品を使用中、過熱されたスプレー缶が爆発し、漏れたガスが引火して周辺が燃えた。	台所の窓ガラス及び、天井の破損	軽傷2名(火傷)	奈良県				庭で先端のつぶれたスプレー缶本体を、部屋でスプレー缶のノズルを発見した。

・過去4年間の経済産業省 製品事故判定第三者委員会の調査結果等を反映した。また、これに合わせ重複データのチェックを行った(10.11.05)